



熊本市議会議員(東区) 確実な議員活動30年、小さな声を よろこびに!

ふじやま英美

ごあいさつ



災害列島と言われている我が国、令和6年は元旦の能登半島地震の衝撃でした。甚大な被害にあわれた方々に対しお見舞を申し上げますとともに一日も早い復旧、復興を願っております。

激甚化・頻発する大雨による冠水・浸水・土砂災害や落雷・突風・竜巻等、自然災害も各地で発生しています。また、進行する少子高齢化や人口減少等社会の変化にも的確に対応していく必要があります。

私は令和6年6月開催の第2回定例会に於いて一般質問を行いました。その内容を簡潔にご報告いたします。

時節柄ご自愛下さいませようお祈り致します。

街路樹や植樹帯の伐採や撤去について

市内の中高木街路樹について、剪定の負担やその後の成長速度が課題となっています。また、令和5年度予算での街路樹・公園施設の緊急総点検経費の増額について、以前から指摘されていた課題にどのように対応しているのか。さらに、熊本高森線や花立交差点から益城町までの街路樹に関する伐採や撤去の実績と今後の**電線地中化計画**について詳細を教えてください。また、計画の進捗状況と目標達成に向けた具体的な取り組みについても伺います。以上、2点について都市建設局長にお尋ねします。



植樹帯で狭くなった歩道。
自転車も通ります。

都市建設局長
答弁

令和4年度の街路樹再生計画では、熊本高森線と熊本益城大津線を重点的に安全と景観を考慮し、131本の樹木を撤去しています。昨年度は市有施設を含む52,900本の樹木を点検し、危険な4,500本を緊急に撤去しました。今年度は熊本の気候と生育条件に合わせた「**森の都再生プラン**」を立案し、**街路樹再生計画**と一体的に進め、安全で**快適な街路樹空間の形成**と良好な景観の実現を目指します。無電柱化については、緊急輸送道路である熊本高森線の早期実施が必要であり、益城町でも4車線化事業と組み合わせて推進されています。花立2丁目交差点から益城町までの区間では、令和4年度に九州電力との協議を終え、令和5年度に調査を行い、今年度は**設計に着手**しています。引き続き関係機関と連携し、沿線地権者の理解を得ながら計画的かつ迅速に推進しています。

安心・安全な歩道について

台風や地震などの自然災害による歩道の被害が増加している現状を受け、歩道の改善が喫緊の課題となっています。特に、狭くて危険な歩道や、自転車と歩行者の衝突事故が増えている問題について、歩道の安全性を確保するための取り組みが急務だと考えております。特に第2空港線や新外秋津線の児童が通学する箇所では、登校時の安全性が特に懸念されており、歩道幅の不足や植樹帯の除去が求められています。市内全体の**歩道の安全対策**について、市長の考えをお聞きかせください。



市長答弁

現在、市では歩道の**安全対策を重視**し、道路整備プログラムを通じて、自転車と歩行者の分離や段差の解消を推進しています。また、街路樹による歩道の**幅員不足**や**根上がり対策**も計画的に進めており、地域の課題や利用状況に応じた対策を実施しています。今後も市民の安全と安心を第一に、効果的な**歩道の改善**を進めていく方針です。

公園の維持管理について

最近、地域の公園では除草作業に対する要望が高まっています。公園によっては定期的な手入れが行われているところもありますが、手入れが不足している例も見受けられます。特に夏場は雨により草が急速に成長するため、頻繁な草刈りが必要です。本年度の予算額と除草回数についての確認、そして宅地開発に伴う小規模公園の維持管理に関する現行の設置基準の見直しについて、都市建設局長にお尋ねします。



秋津3丁目公園は、まちづくり委員会でも年間30回程草刈り等実施しています。

都市建設局長
答弁

本年度の公園維持管理予算は約8億8千万円で、そのうち除草費用は約2億7千万円です。年4回の除草を実施し、地域の要望に応じて令和5年度に予算を増額しました。複数契約を推進し、**効率的な除草を目指しています**。現行の公園設置基準の見直しについては、防災面や地域のニーズを考慮し、条例での緩和条件設定は行っていないが、管理の負担軽減に向けた施策は検討中です。